

# KOTELLO

## しんぶん



特集記事

KOTELLO

こんな使い方

していただきました

連載

KOTELLO本日より

KOTELLOトピック

こんな使い方をいただきました

1

とやま・こども・みらい予備校

with 島山健介

第一回 SUMMER

開催日 令和5年7月15日(土)~16日(日)

主催者 ラグビー元日本代表

島山 健介(愛称:ケニー)さん

### イベント概要

元ラグビー日本代表の島山健介さんと富山の大自然を楽しむプロジェクト。小学生を対象とし、一泊二日のキャンプを年4回企画。1回目のテーマは『水』。滝遊び等の自然体験、テント張り、火起こし、BBQ、クラブ体験など、立山山麓にて様々な体験を行った。

### 目的

- 学校・家庭・クラブ以外の新たな子供達の居場所を創る
- スポーツ・文化・自然・食などを通して「経験値」を上げる
- すべての体験は子供達主導であり、大人は「指導者」ではなく「伴走者」となる
- 起こるすべてのことは、表と裏があることを学ぶ
- 他人のバックボーンを受け入れ、考えられる許容性のある人間づくりを行う
- オンラインを活用し、年間を通して「繋がり」を感じてもらおう



まず、事業について教えてください。

我々がやっているのは、「とやま・こども・みらい予備校」という、子供達向けの自然体験プログラムです。

一般的な野外キャンプというよりは、自然を通して物事のいろいろな面を学んでいってほしいと思っています。あとは自分たちで考えて行動できるようにしてほしいのと、そういった子供たちが増えて富山や北陸地方をより良い場所にする担い手になってほしいという狙いから事業を企画しています。

きっかけは何だったんですか？

イベントで富山に来ることがありました。それはスポーツのイベントだったんですけど、そこで今回のプロジェクトで共同で立ち上げた湯浅千鶴さんという女性の方と知り合いました。湯浅さんは富山出身で、一度は東京に行かれた時期もあったみたいなんですけど、今はまた富山に戻られて、ジュニア世代の子供たちの育成に携われておられました。そこで、いろいろと話を聞いて、ぜひ富山のために、子供たちのために何かできたらと声をかけていただいたのがきっかけです。何ができたかってお互いの経験だったり知識だったり、あとはリソースを合わせて今回のプロジェクトに行き着いたという形です。

— 何でKOTELLOでやろうと思われたんですか？

もともと、今回のプロジェクトの立ち上げの際、立山というエリアを活用して欲しいと言われていたんです。ただ、アクセスの問題で山奥というわけにはいかないと考えていました。KOTELLOは都市でも山奥でもないちょうど良い塩梅の場所にあるなと感じました。あとは、ホテルやテント場などの整備されたものではなく、ちょっと不便な場所というの魅力でした。それらのことを考えた時、企画とフィットする場所だなと感じました。



実際、廃校した小学校を利用されているKOTELLOですが、廃校っていうこと自体はすごくシヨッキングなことですよ。ただ、そこからどういう風に再生するのとか、それをどういう風に生かすのかっていうのはまさに僕たちがやろうとしているものとすごく通ずるものがありました。あと、KOTELLOのスタッフの方が「全然使ってください！」という風に自由度が高かったです。要はこっちの発想次第ではプロジェクトというかプログラムは萎んでしましますが、その発想力を使えば使う分だけ広がっていくっていうのもKOTELLOさんの可能性なのかなと。そういうところが大きかったですね。

—実際に使ってみてどうでしたか？  
 すごく満足しています。詳細は伏せますが、我々のプログラムで自然のものを利用したりとか、あとはテント泊なんかもさせていたけど、そういったことを行うとなると、許可だったりリスクだったりのところを言われて、なかなか難しい部分があるので。本当、先ほど言ったKOTELLOを選んだ理由のうちの1つである自由度の高さを効かせてくれたっていうのはすごくありがたかったです。

—子供たちの反応はどうでしたか？  
 僕たちは野外でのプログラムだったりと自然を通じたプログラムを考えていたので、そっちの方にちょっとフォーカスを置いてたんですけど、KOTELLOの中に楽器や遊び道具もたくさんあって、子供たちはなんならそっちの方が楽しいんじゃないかって。今後は我々の努力ですが、KOTELLOさんの魅力に心を奪われないように、プログラムをもっと魅力あるものにしたいと思っています。「早く外に行きたい」とか「ここの中は嫌だ」というのが理想ではあるんですけど、なかなか難しいかもしれないですね！でも頑張ります。

—KOTELLOを一言で表現すると？  
 やっぱ自由ですね。  
 その自由っていうのが何でもありっていう意味の自由ではなくて、やっぱある程度の枠はあるんですよ。自然と校舎。あとはグラウンドとか施設の形はあって、その中にいろんなものがあるんですけど、そういった枠がある中で何をするかは自由っていう。その自由を考えさせてくれるっていう場所かなと思います。

—すごく嬉しいですね。何でもありってことじゃないですね。  
 何でもありっていうわけじゃないです。じゃあKOTELLOの中で花火していいのかって、そういうわけにはいかないのよ。  
 やっぱそういう常識というよりも何か感覚的なことも結構大事だと思えます。  
 そんなことやっちゃダメだろ？っていう感覚って結構大事。「書いてないからいいだろう、自由だからいいだろう」というのは、協働して、協力して生活していくっていう意味では根底から成立しなくなるのかなと。

—本当そうだと思います。インタビューという形でお話を聞かせていただいて、私自身も学びもありますし、すごく共感もできたりとか、同じように考えられる部分もあったので、そういう方がいらっしゃるのは本当に嬉しいです。単に使用していただいただけじゃなくて、そういう想いを持って使っていただいたことが非常に嬉しく思っていますので。またぜひKOTELLOを使っていたら、一緒に何かできることを今後可能性を考えながら、共に頑張っていきたいなと思いました。本当にありがとうございます。



## SCHEDULE

### 18日

先日までの大雨が影響でスケジュールが大幅に変更。午前中は2組に分かれてケニーと運動、ヒゲジーとクラフトを行いました。  
 お昼は@shiroikiseki\_awasunoのなっちゃん特製カレーをいただきました。  
 午後は川の状態を見て称名川へ！  
 夜は試行錯誤して建てたテントでケニーと一緒に泊まり。



ゲストハウス  
Shiroikiseki  
instagram

### 28日

朝から称名川へ！  
 ロープを使って流れの速いところを横断、みんなで声を掛け合って助け合い無事全員で渡り切りました。約2時間ほど川を散策し最後には滝修行。全員で滝に打たれてきました。

こんな使い方をいただきました ②



### Retreat x Fasting @立山

開催日 令和5年6月23日(金)~25日(日)  
主催者 ハマ企画株式会社 取締役 山室 玲子さん

#### イベント概要

信仰の山、立山を感じて新しい自分に出会うやさしい断食プログラム。日々のあたたかい生活から離れ、自然の中で新しい自分に出会う3日間。気づきや感動、笑いがある講義やワークをたのしみ、ご縁があった仲間とふれあい、やさしい気持ちになる、しあわせなプログラム。

「KOTELLOでイベントをやろうと思ったきっかけはなんですか？」  
去年、長野県の断食イベントに参加して、そこで岡部先生に富山でも断食やってみないかと言われたん

です。そのことをまわりに相談したら、KOTELLOという名前が出てきました。

「テーマの「新しい自分に出会う」が、すごく親和性あるなと思いました。」

「以前、KOTELLOに伺ったときに、初めて立山信仰を知りました。岡部先生は、場のエネルギーみたいなことも大事にされているので、ぴったりだなと思いました。」

「KOTELLOがあって、テーマだったり音読ツアーやろうとかが決まっていたんですね！実際KOTELLOでやってみていかがでしたか？」

「そうですね。一箇所で宿泊まで完結することは出来なかったですが、色々融通を聞いてもらえたし、千寿荘まで車で移動してお風呂に入ったりと、周辺施設にも助けられて実施することができました。」

「断食はいろんな場所で開催されるんですか？」

「そうですね。本当に修行みたいなものなど様々ですが、岡部先生の断食会は合間にお味噌汁飲んだり、玄米甘酒を食べたりとか、あまり空腹を感じないんです。アンケートでは、楽にできたという感想ばかりでした。」

「わたしも思ってた断食と違う印象でした(笑)」

「結構食べるしね(笑)。参加された方からは、その後、おやつとか食べなくても済むようになったという声もいただいています。」

「終わった後も、ちゃんとしようって思えるような、テーマの通り、ちよっと新しい自分になれるイベントですね。」



次回開催決定!!  
2023年  
10/20(金)~22(日)  
場所 KOTELLO  
参加者大募集中!

SCHEDULE DAY 1 DAY 2 DAY 3

こんな使い方をいただきました ③

### BOOK MARKET 温もり感じる古本市

開催日 令和5年5月21日(日)  
主催者 富山短期大学 経営情報学科2年 東野ゼミ

山本 真奈美さん  
金津 友美さん

#### イベント概要

富山短期大学東野ゼミが主催する古本市イベント。「温もりを感じる」をテーマに、本にまつわる様々な企画が模様された。古本の販売のほか、ブックエンドや、ブックスタンドのワークショップ、絵本の読み聞かせ&朗読会、飲食販売に、シルフリールなどを実施。子供からお年寄りまでたくさんの方が訪れ、本との時間を楽しんだ。

「古本市としての活動を教えてもらえますか？」

「山本・私たち富山短期大学経営情報学科の東野ゼミの事業として定期的に開催しているものです。もともと、青空古本市というものを開催されている方に古本を提供してもらって年に一回、自分たちで企画をして行なっています。」

「東野ゼミはずっと古本市をやっているんですか？」

「山本・東野先生が来られてからはずっとなので。今、5、6年経ったところですね。」

「とKOTELLOさんでやるのが初の主催です。」

「最初は僕らがやってくれないかって？って話を持っていったのがキッカですよ。」

「山本・そうですね。急に先生が依頼持ってきて、「な、な、えっ？」みたいな。」

「金津・そうなんです。いきなりって感じでした。」

「山本・東野先生無茶振りするので。その前提として僕らが無茶振りしたので。申し訳ない。」

「金津・いや、全然楽しかったの！」

「山本・立山だったからかな。立山で本屋さんとかないじゃないかって。珍しいんじゃない？と。でもそのぐらいですよ。動機は。」

「山本・私は楽しそうだったっていうのがとてあえずひとつ目。その前に東野先生からKOTELLOの説明を軽くされいて、ホームページとかも見て。「こういう場所あるんだ？初めて知った。こういう場所で開催できたら幅も広がるし経験にもなるな」って。」

「嬉しい。」

「金津・あと先生が結構強引なところがあったおかげかもしれない。でもそういう人がいないと始まらないところもありますからね。」

「でホームページを見ました。」

「僕らとしても、使い方が参考になりましたよ。じゃ開催してみたいなことからありますか？」

「金津・朗読とかワークショップも、KOTELLOっていう小学校の設備があったからできたし。そういう与えられた役割っていうのがあったからできたと思います。」

「山本・富山短期大学で、KOTELLOでイベントをしたいっていう声も多くなっていて。すごくいろんな意味で影響があったかなとは思っています。最後にKOTELLOを一言で言うとうちですか？」

「山本・KOTELLOを一言で言うとうち？無茶振り：挑戦とかワクワクが詰まった場所。」

「山本・もうそれ最高。ありがたい、嬉しいね。」

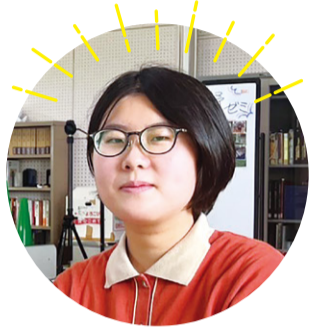




# 1階スペースにブックマンションが新登場♪

## WHAT A BOOK APARTMENT? ブックマンションとは?

棚の一つ一つが、それぞれ違うオーナーさんが管理する小さな本屋さん。  
その棚の中では、本や、本にまつわるグッズなどを自由に販売することができる。  
選書や棚の中のレイアウトによって、オーナーの色が出るのも醍醐味です。



### Theme of Book Apartment

#### 何度も読み返したお気に入り

富山短期大学 経営情報学科2年 東野ゼミ

金津 友美 さん

#### ぼっちーズ

著者: 入間人間 出版社: アスキーメディアワークス

大学生になっても友達ができない主人公に、謎の保健医から秘密基地のカギを渡される。そこは「闘うための場所」であり、与えられた学生たちは充実した学生生活のために闘いを始める。読み進めると、だんだんと話の時系列が分かっていき、最後にはこういうことだったのか!と納得するそんなお話です。当時中学生だったので、大学ってこんな感じなのかーと、これから来るであろう未来を想像しながら読んだものでした笑 作中では、大学生活を謳歌できない、見るも無残な姿の大学生がたくさん登場します。「他人」同士が秘密基地を通して、自分たちなりの大学生活を過ごしていく、ということがこの作品からは感じることができると思います。読み応えたっぷりなので、時間をかけてじっくり考察しながら読むのが好きな方におすすめです!



### Theme of Book Apartment

#### 好きな文庫本

富山短期大学 経営情報学科2年 東野ゼミ

山本 真奈美 さん

#### 推し、燃ゆ

著者: 宇佐見りん 出版社: 河出書房新社

現在一人ひとり“推し”がいるのが、当たり前になってきた世の中ですが、このお話はJK主人公の推しが炎上したという物語です。若者の間では、推しに生きる意味を見出す人も少なくありませんが、夢や目標に生きる意味を見出す人も主人公に共感でき、作品に対する理解が深まると思います。

164回芥川賞受賞・2021年本屋大賞ノミネートなど有名となった本ですが、2023年7月に待望の文庫本が出版されました。ぜひ、気軽に手に取ってみてください。



#### その他の何度も読み返したお気に入り

図書館戦争シリーズ(有川浩・角川書店) / 竜が呼んだ娘シリーズ(柏葉幸子・朝日学生新聞社) / 阪急電車(有川浩・幻冬舎文庫) / おひめさまがっこうへいく(まだらめ三保・ポプラ社) / 博士の愛した数式(小川洋子・新潮社)

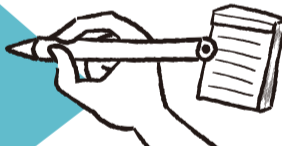
#### その他の好きな文庫本

満月珈琲店の星詠み(望月麻衣・文春文庫) / かがみの孤城(辻村深月・ポプラ社) / 星の王子さま(サン・テグジュペリ・池澤夏樹[新訳]・集英社文庫)



# KOTELOトピック

## イベント情報のご案内



### 9月



#### 1階無料開放予定

1階スペースを無料でご利用いただけるようにリニューアル。古本やドリンクの販売を行います。



#### 9月24日(日) 布橋灌頂会

#### 9月16日(土)~17日(日) とやま・こども・みらい予備校 with 畠山健介

運動体験や自然体験、農業体験やものづくりなどを通して、たくさんの学びがあるプログラム。第2回プログラムのテーマは「探検」

### 10月



#### 10月20日(金)~22日(日) Retreat x Fasting@立山

信仰の山、立山を感じて新しい自分に出会うやさしい断食プログラム。

### ARCHIVES

### 4月



#### 白駒妃登美さん講演会

昨年に引き続き、KOTELOの人財育成研修として「春の特別授業 歴史の時間」を開催。日本の歴史を紐解きながら、日本人の生き方や心を学びました。



#### お花見

地元のお茶の先生にお抹茶をたていただき、桜の木をみながらのんびりしたひとときを過ごしました。

### 5月



#### 古本市

富山短期大学の学生さん主催のイベント。古本の販売だけでなく、ブックエンドづくりワークショップや、読み聞かせなどもあり、たくさんの方で賑わいました。

### 6月



#### Retreat x Fasting@立山

ハマ企画株式会社さま主催のイベント。富山県で初のプチ断食リトリートが開催されました。

### 7月



#### とやま・こども・みらい予備校 with 畠山健介

元ラグビー選手の畠山健介さんによる自然体験プロジェクトが始動。第一回のテーマは「水」。1泊2日で、川遊びや滝修行などを行いました。



イベントの詳細情報は  
ホームページにて  
随時更新しています



www.sanagi.net